

八尾市教育センター NEWS

令和元年10月

所報：342

教育相談
072-941-3365

情報推進
072-943-5785

研究・研修
072-943-5784

八尾市ホームページ <http://www.city.yao.osaka.jp/>
（「教育委員会」のページよりご覧ください）

家庭の教育力レベルアップ事業

校内教職員研修 「SSWの視点からのアセスメントとプランニング」
八尾市SSW 磯田 智子先生・神田 雅章先生・一振 優子先生
山崎 瑞貴先生・徳田 睦美先生

SSWとは・・・



SSWとは、スクールソーシャルワーカーの略称です。

SSWは、福祉の専門性を有する者として、学校等においてソーシャルワークを行う専門家です。スクールソーシャルワークとは、児童生徒の最善の利益を考慮しながら、児童生徒の就学支援、健全育成を図るため、「児童生徒及び保護者への支援」並びに「学校組織への支援」を行うことをいいます。そのため、SSWの活動は、児童生徒という個人だけでなく、児童生徒の置かれている環境にも働きかけるといった特徴があります。学校内においては、支援を行う際のチーム体制づくり、役割分担や調整への助言も行います。

家庭の教育力レベルアップ事業は、不登校や問題行動、虐待等の課題に対して早期発見・早期対応をとることができるよう、事業指定校に対して、教職員研修を行うなど、教職員の資質向上・チームでの支援体制の構築を推進するものです。

今年度は、7月下旬から10月中旬にかけて、「SSW視点からのアセスメント」と題して、事業指定校各校で教職員研修を開催しました。

＜研修内容＞

- 子どもが抱える問題に対するSSW視点でのアセスメントのポイント
- 特に保護者対応を中心としたアセスメントとプランニングのポイント
- 学校が抱える課題に対する相談

等

参加した先生方からは、「子どもが抱える問題や課題には必ず要因、背景があるということをも十分理解したうえで子どもへの対応プランを考える必要があると思いました。」「本当に有意義な学びでした。「保護者への相談・指導のポイントは大変参考になりました。」「保護者とのコミュニケーションについて知ることができた。」などの感想をいただきました。

今後、様々な事象に対してのケース会議にSSWの活用をお考えの場合は、管理職の先生を通じて教育センターまでご連絡をお願いいたします。

子育て講座

日時 令和元年9月26日(木) 10:00~12:00
場所 八尾市教育センター A棟2階 大研修室1

「子育て講座」は、八尾市内の希望する保護者を対象に、発達に心配のある子どもの自立に向けて、家庭でできる支援や関わり方について学ぶことを目的として実施しています。講師として社会福祉士、精神保健福祉士 笹森 理絵先生をお招きしました。

講演では、「発達障がいもポジティブに生きる～当事者として・当事者3人の母として」と題して、ご自身の生活経験、育児の経験も交えながら、子どもの発達への理解や、子どものほめ方など、具体的で分かりやすいお話をしていただきました。

参加した保護者からは、「経験をふまえての話だったので分かりやすかった。日々、叱ってしまうこと多いのですが、見直すきっかけになりました。」「当事者の話を初めて聞いたのでとてもためになりました。前向きになれるお話ばかりで、すごく先が不安でしたが頑張れる気がします。心に響くお話ばかりでした。」「子どもの気持ちが分かりました。何故できないのかをいろいろな視点で考えないといけないと思いました。何でも話せる環境をつくることの大切さ感じました。」「ほめることの大切さ、一人ひとりに応じた対応が重要であることに気づかせて頂きました。」「子どもの関わり方に対して、試行錯誤の毎日で悩みがつきません。今日のお話で、子育てについてヒントを深く知ることができました。」などの感想がありました。



特別支援教育・保育ゼミ

教育センターでは、支援を必要とする就学前の子どもの発達に応じた支援方法の習得を通じて、一人ひとりの課題に応じた支援の充実を図り、関係機関と連携しながら共に育ちあう教育・保育を実践することを目的として「特別支援教育・保育ゼミ」を開催しています。

ゼミでは、公立こども園の特別支援コーディネーターを中心として、公立のこども園・保育所の保育教諭・看護師と、八尾市立医療型児童発達支援センターの作業療法士・保育教諭が集まり、各園の子どもの様子を話し合ったり、巡回指導で受けた専門家からのアドバイスを共有し学び合ったりしています。学んだことは自園に戻り実践し、質の向上をめざしています。その他にも研修会や講演会を企画し、八尾市内の全就学前施設に案内し、共に学びながら特別支援教育・保育の質の向上をめざしています。

◎八尾市立医療型児童発達支援センターで研修をしました◎

日時 令和元年6月24日(月) 14:30~17:00

場所 旧八尾市立特別支援学校

内容 「こどものできない・ぎこちないの捉え方について」

講師：医療型児童発達支援センター

作業療法士 岸本 和也さん

「乳幼児の言葉の発達について」

講師：医療型児童発達支援センター

言語聴覚士 奥野 真理子さん

参加した保育者からは、「一人ひとりに合った支援のためのスモールステップを心掛けたいと思います。」「それぞれの状況を別々に捉えるのではなく、複合的な視点で理解しようとするのが大切だと確認できました。」「短い言葉がけや静かな環境を作ることなどが大切だと思いました。」「どの部分かその子の苦手なの事なのかをしっかりと見取り、保育の中で経験していくのが大切だと感じました。」などの感想がありました。

